

安威川ダム 第85回岩盤判定会議後の追加確認 議事要旨

日 時：令和2年7月7日（火） 10:00～10:15

場 所：安威川ダムJV事務所 会議室

出席者：大阪府河川室 武部地域河川・ダムグループ長（地盤検査官）

大阪府安威川ダム建設事務所 山岡ダム建設グループ長

安威川ダムJV [REDACTED] ほか

（株）ニュージェック [REDACTED]

資料：第85回 岩盤判定会議資料、崩落部拡大写真

検査対象：〈地盤検査〉

監査廊 右岸部下流側掘削面（No.2+7、DC+5付近）における一部崩落箇所

主な指摘事項（地盤検査の記録に掲載するもの）：

- ・岩盤状況を確認し、崩落した部分の岩盤は所定の基礎岩盤であることを確認した。
- ・岩盤面に残った粘土については除去すること。

概 要：

○7月6日開催の第85回岩盤判定会議終了後、降雨の影響により、監査廊 右岸部下流側掘削面において岩盤の部分的な崩落が生じたため、再度現場で岩盤状況を確認した。

○崩落は、小規模な断層で囲まれた部分が抜け落ちたものである。

崩落後の基礎岩盤は、CLh級岩盤が分布しており、監査廊部の基礎岩盤として問題はない。

○施工手順は次のとおり。

- ①今後数日間、降雨が続くため、雨水の浸透防止を目的にシートで養生。
- ②晴天を待って、崩落部とその周辺にモルタル吹付け。
- ③吹付完了後に次回の岩盤判定会議での検査対象部の掘削開始。

なお、上記の施工過程において岩盤の監視を継続し、崩落がみられた場合は再度、岩盤状況の確認を行う。

〈地盤検査官のコメント〉

岩盤状況を確認し、崩落した部分の岩盤は所定の基礎岩盤であることを確認した。

岩盤面に残った粘土については、除去すること。

施工の安全確保に万全を期すこと。

以上